

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

5月中旬、松本信用金庫で年金の振り込みをしている顧客を対象とした「ふれあい親睦の旅・富士芝桜まつり」とやまなしの旅」に参加する。機会があるご

とに他の地域の動向が知りたく出掛けるのだが、全ての行程が初めてという旅とならないことが多くなってきた。旅するソングライターのアльバムの一曲「自分忘れの旅」を歌う浜田省吾さん、ロックシンガーとして有名だが、作詞内容も心に突き刺さるほど深く、濃く、深い。歌詞の一部で「成し遂げたことより、今をどう生きるかって考えている」と若い頃が「自分探し」だとしたら、年齢を重ねてからは、仕事や日常を忘れるために旅を楽しむ「自分忘れ」の旅の歌詞を思い出したほど楽しい旅で

もあった。

参加総数1500人を5日間に分けての盛況の旅行、当日は大北地域を中心に大型バス9台に分乗してスタート。訪れた富士芝桜祭り会場は、2・4時に

イベントの難しさを寂しそうに話す。「うまいものフェスタ」のグルメフェースの影響は更に厳しく、出店関係者の虚しい呼び込みの声が強印象に残る。東南アジア系のお客さん

は、突然の雷と天粒な水を車内で体験。芝桜への影響が心配になる。昼食は、庭園も楽しめる格調のある常盤ホテル。旅の楽しみは食事は堪能できた内容

## 悔いのない人生を歩む為に「自分忘れの旅」に出かけませんか

約80万株の芝桜が魅力の場所だが、大勢の入場者の期待を裏切る開花状況だった。聞くとも早く、まばらな開花と開花時期も短く全面が咲き誇る状況にならなかったと自然相手の

が自立し、狭い見学通路にもかかわらず、自撮り棒を駆使して風景をバックにした人物の写真撮影会。ひと昔前は、日本人も海外では同じ行動をしていただろうと懐かしさを感じてしまう。帰り際に

だ。一般的な昼食内容とは異なり本格膳、特に和食の味付けは、お酒を誘い会場を盛り上げた。シャトー勝沼ワインでは、「しんきんオリジナル」のミニボトル。山梨の銘菓・桔梗屋信玄餅本社

工場では信玄餅のプレゼントも用意され、参加者の購買意欲も絶好調。買い込んだお土産の量は旅の楽しみの証でもあるのだろう。顔見知りとの再会も楽しかった。つい自分探しをしてしまう旅でも

あるが、「自分忘れ」を楽しむ旅ができる人生を歩めるよう、これからも旅に出かけようと思っている。  
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



訪日客の驚きの行動に、可憐な花木の嘆きが聞こえてきそう